

Kanada Town Public Relations

広
報

かなだの風

2003

11/15

No.483



輝かそう みんなのHeart♡

つなげよう みんなのHeart♡

金田中学校合唱コンクールが10月26日(日)金田中学校体育館で開催されました。

第1部の吹奏学部演奏(写真右)、全校合唱『マイバラード』から始まり、第2部では各クラスによる学級合唱、第3部はクラス縦割りのブロック合唱、3年生音楽選択クラスによる発表『さくら(独唱)』『空も飛べるはず』と、今まで一生懸命練習した成果を披露しました。

特に、第3部の3年生選択音楽発表『空も飛べるはず』のアンコールでは、1・2年生、先生、音楽選択以外の3年生も飛び入り参加で一緒に熱唱し、会場は一体感に包まれました。(写真上)

この日は、音楽を通じて楽しさや喜びを味わい、お互いの絆を深めた一日でした。



人権作文入選作

「友達」について

加藤 未来

友達とは、ただ話すだけの人だとか、遊ぶだけの人だと思こんでいる人が、この世界にいるかもしれないとわたしは思います。なぜそんなことを思うかというと、その人が、自分にとって大切な人だと心から思っていない人がいるからです。友達すべてがいい人だとはいえません。わたしも、友達にどう思われているのかは分かりません。どう思うかは、人それぞれだからです。優しい人、意地悪な人、明るい人、暗い人といろんな性格を持った人がいると思います。でもそれは、一つの個性だとも思っています。たとえば、その友達が意地悪でも、優しく迎えてあげる気持ちを持っていいと思います。その人の心の中がすべて、意地悪なんかじゃないと思います。必ずその心にも、小さくても、とても温かい心があるからです。もし、それが自分だったら優しく迎えてあげることが本当にできるかどうかは分かりません。よく、人がいつている言葉で「みんな違ってみんないい」という言葉があります。その言葉は、一人一人の性格をととても大事にしているいい言葉だと思います。みんな違うという言葉は、顔が違うこととかや、背の高さが違うということ以外に、もっと違うことがあると思います。それは、「心」です。すべてのひとの顔が違うとはかぎりません。よく世界には、自分と同じ顔の人が三人いるといわれています。それでも、すべてが同じだということとは絶対にありません。なぜなら、一人一人の心があるからです。

友達というのは、ただ仲のいいということじゃないと思います。わたしは、友達というのはこうということだと思います。お互いの意見を聞きあ



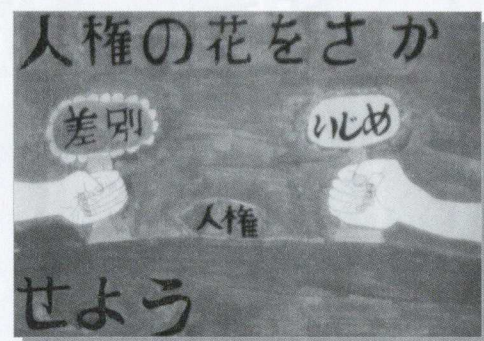
たり、自分の個性をもっとアピールし合い、いやなことがあったら相談して、自分の心をもっと大きく育てていく、大切な心のパートナーかな、と思います。夫婦が心のパートナーであるように、友達同士も心のパートナーじゃないかな、と思います。でも、わたしは多分、言葉に表しているだけで、本当はまだ、友達がどういうことかは分かっていないと思います。

時にはけんかもあるかもしれないけど、いいとおもいます。お互いにぶつかり合ったら相手の気持ちが分かるようになるからです。相手の心の中はのぞけないけど、でも、相手の気持ちになってみたら分かるかもしれません。だから、自分のことばかりを考えないで、相手のことを少しでも考えてあげられるような友達になれたら「いいな」と思います。

友達には、人気のある友達がいると思います。だから、「人気のある友達ともっと仲良くなりたい」と思うから、自分の友達には普通なのに、人気のある友達になると、妙に優しくなったりする人がいると思います。だから、そういう人は、もっと友達の大切さを知った方がいいと思います。ひいきなんてしないで、一人一人の友達を、自分の心でもっと支えてあげた方がいいと思います。一人一人に人権があるから、もっと広い心で相手を見てほしいと思いました。わたしも、もっと優しい心が持てる人になれたらいいなと思いました。

人権ポスター入選作

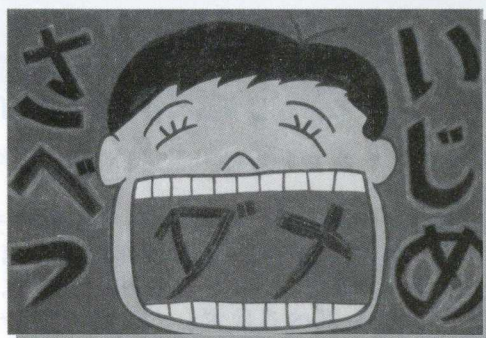
平成14年度表彰分



田村 拓也

ほくが書いた言葉は「人権の花を咲かせよう」です。この言葉の意味は、この地球上で同じ人間が、いじめや差別をすることで信じられないからです。

いじめや差別をなくすために金田小学校のみんなが、がんばってこの人権ポスターを描きました。みんなも、いじめや差別をなくして、戦争やけんかにつながることはやめましょう。



吉田 雅之

この人権ポスターを描いたのは、どんなに小さいいじめや差別でも、見逃さないで、自分の思いをはっきり口に出して、相手やまわりの人達に、伝えなければいけないと思ったからです。口に出さないとも通じない。だからほくは、できる限り声をだして、「いじめ・差別は絶対だめだ」といえる人間でありたいという思いでこのポスターを描きました。

12月4日(木)から12月10日(水)は

人権週間です。

県下一斉無料電話相談

12月6日(土) 9:00~20:00

フリーダイヤル

0120-9393-22

※市外局番0979の地域及び携帯電話、PHSからは通話できません。

家庭内のもめごとや隣近所とのトラブル、いじめや差別など、悩みや困りごとがあったら、ひとりで悩まずお電話ください。

法務局職員と人権擁護委員が無料で相談に応じます。

秘密は厳守されますのでお気軽にご相談ください。

お問い合わせ
福岡県法務局人権擁護部
☎092-721-9166

人権に関する発表会

日時：12月8日(月) 18:00~

場所：金田町総合会館一階大集会室

小学生の人権ポスター、中学生の人権作文を発表します。

※入選者は12月1日号に掲載する予定です。

お問い合わせ
生涯学習課
☎22-2200

福岡県立大 森山沾一教授講演会

「人権・同和問題町民意識調査について」

日時：12月8日(月) 19:30~

場所：金田町総合会館一階大集会室

お問い合わせ
生涯学習課
☎22-2200

中央公民館短歌教員詠草

露光る青葉の森に啼く鳥の声しきりなりチヨットコイチヨットコイ
阿部 重宏
何か良きことある如く秋風に優しくゆれて「そめいよしの」咲く
加治 智子
窓越しに風に揺れるる棕櫚みつ「僕」のハワイ」と幼な児の言う
白石 鶴代
向ひあひし嫁のまなざしやさしくてへだてあひしは遠き日のこと
稲富 光子
がむしゃらに生き来しわれの気のつけばよはい八十ひとの恋しき
白石 信子
団子汁やふかししイモで育ちしが老いて飽食の時代に生きをり
岡野富司生
宇佐宮の莊園といふ黄に熟れし柵田かこみて彼岸花咲く
三村 和子
秋風に揺るる柵榴は漆塗りのよう色つややかにお彼岸に入る
武藤 鶴代
待合室に人ら黙して居りたればわれも慣ひて呼ばれるを待つ
青山 裕洋
紫色の車を見ればなつかしや八十六歳まで乗りし車よ
香月ミサヲ
洪水に三度あいたる川岸の柳の枝にビニール垂るる
福田 昌
吾が顔のくろきもそのまま写りるる写真友より転送してくる
佐竹喜久雄
ふくいくと日にふくらみし青柿の手触るれば未だ固く艶持つ
辻田 幸也
面白い物語り文を読んでいてたちまちわたしは主人公となる
宮里萌望佳
今朝もまた七輪咲きし紅芙蓉もの言ひたげな可愛ゆき花よ
久保 のぶ
鳥の羽や小さき脚の散らばりて今朝がた「いたち」に襲はれたるらし
山口 倭子

たかわスキスキフェスタ in 日王の湯

元気なたがわ・元気な子どもたち

11月23日(日)10:00~16:00

野外ステージ

田川8町村より、吹奏楽や太鼓演奏などの郷土芸能ライブ。司会は「めんたいワイド」でおなじみの安田栗之介さん!

わくわく子供体験コーナー

ケーキ作り
陶器作り
丸太切り

金田中吹奏楽部も出演します!

商工会青年部バザー

たこやき・ポップコーン・とうもろこし・おでん・カレー・イカ焼き・焼きちくわ・ヨーヨー等、地元特産品も出店販売。

主催：田川郡商工会青年部連絡協議会
後援：赤池町・赤村・糸田町・大任町
金田町・香春町・添田町
方城町・日王の湯

お問い合わせ：金田町商工会 ☎22-1111

平成15年度 冬季少年のバス研修 参加者募集

冬季少年のバス研修は、金田町では経験できない真冬の山で自然の厳しさを体験させ、自らの自主性で創意工夫し、責任ある行動がとれ心身共に健全な育成を図ることを目的とします。

日程 平成16年1月23日(金)~25日(日) 2泊3日

場所 島根県飯石郡頓原町大字佐見琴引スキー場

対象 小学5年生~中学2年生の男女

定員 40人(定員を超えた場合は抽選となります)

申込締切 11月28日(金)

提出物 申込書・保護者の承諾書(生涯学習課に用意しています。)、保険証の写し

研修費 8,000円
(ただし、スキーウエア 小学生3,780円・中学生4,680円 手袋500円は別途個人負担となります。)

※申込書は保護者が提出してください。
※申込書と一緒に研修費をいただきます。また、研修中に生じた負傷病等に伴う経費は個人負担となります。

◆サブリーダーも募集します!!

対象 16~19歳

定員 若干名

お問い合わせ
生涯学習課
☎22-2200

もうすぐパパ・ママです。

10月26日(日)保健センターで開催されました。金田町・赤池町・方城町・糸田町のもうすぐパパ・ママになる16人が参加しました。



赤ちゃんの人形でお風呂に入れる練習をしたり、パパが妊婦体験をしました。

皆さん、初めての体験に大奮闘。最後はパパ・ママの育児体験談に、熱心に耳を傾けていました。お子さんに会うのが楽しみです!



献血に役立てましょう

10月24日(金)下田川ライオンズクラブ(会長 倉石隆則)から下田川献血推進協議会に献血旗が寄贈されました。



献血旗を寄贈する倉石隆則(会長)と関係者

この旗は、今後下田川で献血が実施される時に、献血の推進及び広報活動に活用されます。



感謝の気持ちを込めて...

ふるさと交流館日王の湯が平成14年9月に財団法人を設立してから今年9月で一周年を迎えました。

9月21日(土)・22日(日)に一周年謝恩抽選会を開催しました。

当日は、入場者全員に記念品を配りました。また、抽選会では、6人に1人が当たりくじを引き大好評でした。



将来の夢はプロ野球選手? それとも横綱かな?

10月11日(土)田川市の老人ホームとぶき園で行われた敬老ちびっこ相撲大会に少年野球の金田ジュニアクラブから選手9人が参加しました。

選手達は、なれないまわしを締めながら健闘し、6年生の仲島孝明くん(人見)が大関の部(小学校5・6年生)で見事優勝しました。



9月29日(月)、ひらばる幼稚園の園児たちが二重ヶ池(上金田)横の田んぼで稲刈りをしました。6月16日(月)に、園児たちが泥んこと友達になりながら田植えをした小さな苗がこんなに大きくなりました。カマを使つての稲刈りは初めてでしたが、PTA役員のお母さんたちの手助けで上手に収穫できました。収穫したお米は、新穀祭の時にみんなでおいしく食べます。

こんなに大きくなりました

10月19日(日)、第39回田川郡身体障害者体育大会が赤池町民グラウンドで開催されました。当日は天候にも恵まれ、真剣ながらも和気あいあいに楽しく競技しました。金田町は、前半は苦戦しましたが、後半は巻き返し、見事優勝しました。



金田町見事優勝